

『なんたん自然体験活動マップ』

森林・環境ネットワーク

用澤 愛子 さん



の楽校などの子どもを対象とした活動ですが、子どもたちや活動を支えるボランティアスタッフの人材養成と森林整備などの環境保全を併せた活動を両輪として行っています。

森林・環境ネットワークは主に3つの取り組みを行っています。1つ目は森のようちえん、森の楽校といった地域の子どもたちが身近な自然環境に親しむための活動。2つ目は、イベントを支える自分たちも含めたボランティアスタッフの養成などを行う研修の実施。3つ目は、このネットワークの全部の活動の受け皿となる身近な自然環境の整備・保全・活用としての森林整備などです。活動の中で一番表立って見えるのは、森

このような活動をする中で、「こんなところでこんなことやっているのを知らなかった」という声をよく聞きます。市の広報紙に参加募集の記事を掲載してもらい活動の情報発信をしています。活動でお世話になって集落の方には知っていただいても、隣の集落の方は知らない。活動になんらかのかかわりを持っていただいているごく一部の方にしか知られていないのが現状です。逆に私たちも市内で活動されている他の団体のことをあまりよく知りません。情報は「誰かがやってください」と受け身で待っているのではなく、自分たちで発信していかないと皆さんに知ってもらえないと思います。



▲間伐材で作った「森の小屋」で遊ぶ子どもたち
(9月11日、第5回森の楽校)

今回、『なんたん自然体験活動マップ』を作ってみようと思ったのは、私たちも他の団体の活動を知りたいし、自分たちの活動も知ってほしいということからでした。この団体を作るとき「ネットワーク」と団体名にいったのも、1団体の活動だけでなくみんなで連携してネットワークを組んでやっていきたいという設立趣旨があったからで、今回のマップ作りを通してなんらかの横のつながりを構築できたらなと思っています。そしてお互いが情報を共有しあって活動していくうちに、マップだけでなく今度は機関紙を発行してみようか、環境フェスティバルをやってみようかという声が自ずと上がってくるような自発的なネット

トワークになるといいなと思います。

マップの作成は、私たちの把握している団体、行政の把握している団体を併せて掲載し、A3用紙に両面印刷したマップを各戸配付したいと考えています。市内にはたくさんの方が活動されていますが、今回は環境保全や環境学習など、特に体験型の環境に関する活動を行っている団体に声を掛け、団体の活動地を地図に落とし、写真も掲載したいです。皆さんに見ていただいて、保管してもらえるようにデザインや配付時期を検討中です。子ども会の行事などで身近にできる体験活動の参考としていただけるようなマップにしたいと思いますので、ぜひ活用してください。私たちの活動に興味のある方は、ぜひホームページ (<http://www.nposhinrin.net>) をご覧になってください。



▲森林・環境ネットワークの機関紙「Echo」